

わしのとしあき

後援会だより

発行 わしのとしあき後援会
〔事務所〕愛西市塩田町江東七四

TEL(37)0856
FAX(37)0983

愛西市の将来を考える

環境文化都市を目指して

明るい元気な愛西市へ!!

健全財政への取組、企業誘致、地場産業・商業活動の活性化、市民の健康活動の推進、知的な子ども・元気はちきれんばかりの子供への育成、そして豊かな老後の生活等、大きな課題があります。
多くの市民の叡知を頂き、すばらしい環境文化都市を目指して進みたいと思います。



わしのとしあき

プロフィール

〈昭和22年7月3日生・58歳〉

- 平成11年 4月 八開村議会議長
- 平成12年12月 中部松下システム(株) 営業部長 退職 (30年間勤務)
- 平成13年 6月 八開村長

健全財政へ

借金総額

198 億円

基金総額

123 億 **35** 百万円
(平成17年3月末日)

1人当たりの借金は
¥295,082
1軒当たりの借金は
¥950,000

- 世帯数 20,881世帯
- 人口 67,166人

健全財政への道

○収入を計って

支出を抑える

- 市外から専門家(経営・エコ・知識人)を招へいし、市の担当者とチームを組み、促進する

市職員の削減、市議員の削減

市有地・市有施設の活用 (広告料他の収入を美観、市のイメージを損なわない範囲で推進)

広報への広告掲載

(図1参照)

業務の民間委託

文化都市へ

○健康活動を推進し、病院通いの減少を図る

幼児から高齢者までのスポーツの日常化
公共下水道の設置促進

(図12参照)

○スポーツの各大会の招へい・芸術、芸能の催しの推進

推進

- 平日の解放：低料金、PR活動
- 体育協会・文化協会・他団体の協力と指導体制の確立
- 子どもから大人までのスポーツ活動

子どもから大人までのスポーツ活動



リクリエーション活動の奨励

展示会・発表会・「○○」教室の開催の頻度を高める工夫

指導者・リーダー・世話する人他の育成

●エコ(ECO)活動とウォーキングなどのドッキングを図る

(図-1)

【広報紙の広告掲載】



5%の広報紙が広告を掲載

◆広報紙に広告を掲載していると答えた154自治体の内訳は、市区40、町村104。自治体広報紙への広告掲載の主な理由は、「自主財源の確保」「地元商工業者への育成・振興」「生活情報の提供」など。掲載自治体では、それぞれ「広告掲載要綱」などを定めて、政治・選挙・宗教・風俗関連の広告を禁止している。

◆愛三岐にて広告掲載の市町

岐阜市・名古屋市・一宮市・瀬戸市・高浜市・東郷町・桑名市

(図-2)

実現させよう!

公共下水道

●佐屋、佐織地区

7年間で95億9千百万円、30年間で268億円の工事で計画されています。

〈下水道事業〉



受益者負担金

市費(税金)

起債(借入金)

国・県の補助金

公共施設の耐震補強計画

●今後5年間(H18年度~H22年度)

小中学校18校と福原分校の校舎と体育館にて16億2千万円が見込まれる。

住みよい元気な環境文化都市を

目指してがんばります。

- 知的な子ども・元気はちきれんばかりの子どもの育成
- 学校教育……もっともっと勉強へ
- 「読み・書き・ソロバン(算数)」の見直し・奨励
- 学校部活動、社会体育活動(野球・サッカー・ミニバスケットボール・他)の推進



- 地場産業・商業活動の活性化
- 広告塔の設置
- 広報での紹介、広告掲載他
- 地域農業の振興
- 市特産物の宣伝及び開発促進
- 市農産物のブランド化

平成17年3月末日 地方債(借金)残高	
一般会計	13,437
集落排水事業	5,568
公共下水道	546
上水道	249
計	19,800

単位(百万円)

徹底した
情報公開を!

総代人数、事務委託料
見直しへ

〔総代組織の見直し〕

行政区単位の総代制へ移行します。(但し、3年の過渡期間をもつ)

現行の自治組織

地区別	行政区(町単位)	総代(駐在員)現在人数
佐屋	19	19人
立田	16	39人
八開	14	22人
佐織	18	61人
計	67	141人

〔事務委託料の見直し〕

平成一八年度から適用
世帯割@二、一〇〇円に
決定(二〇、四五七世帯)

○元気な街を目指し地元企業・商店の健全育成強化を!

○高齢者から叡知を頂き、高齢者の、高齢者のための、豊かな生活の推進

○ボランティアグループへの支援
明るく元気できれいな街づくりを目指すため、又、青少年の健全育成の為、ボランティアグループへの支援



今の時代
だからこそ、
実行力のある
議員を!

4月23日は
市議選挙の
投票日です。

いまこそ実行力 わしの としあきこそその人

あなたと愛西市に尽くす

わしのとしあき

後援会だより



info@aisai-washino.com

混沌とした政治に 光を当てよう

わしのとしあき後援会会長 坂 美雄

日本の政治が今、混沌の域を右往左往しています。

東北大震災の煽りが今なお、続いています。風が吹けば、桶屋が儲かるの反対の現象が続いています。

一、原発の崩壊

火力発電の増強—原油の高騰—生産コストへの跳ね返り—物価の上昇—世界競争力の劣化

二、消費税増税と減税

購買力の低下—税収入の不足—財政の破綻加えて際限のない福祉政策の重荷

三、中央の混乱の地方への不安

総選挙間近?

愛西市をこの混沌の犠牲にしてはなりません。愛西市はいつまでも市民の住みやすい、幸福な街でなければなりません。

不肖、わしのとしあきを、この難局を乗り切るため、全知全能を傾けて尽力させます。

一般質問 9月議会

なぜ進まぬ

遊休資産の処分

質問

平成20年より3年間で市有財産管理台帳のデータ化システムを構築され、市有財産の精微化も図られた。愛西市普通財産売却要綱、運用内規も平成21年11月から平成22年2月に定められた。遊休不動産、資産の処分についての条件も整ってきた。

遊休資産の処分はなぜ進まないか。原因はどこにあるのか。毎年の市有地増大は行財政改革への逆行ではないか。

愛西市の借金残高は毎年約10億円から15億円増大し、平成22年度末には約289億9千万円となった。(下表参照)平成22年度決算審査意見書にあるように、今後極めて厳しい財政運営が予想されるのではないかと。

遊休資産、将来利用しない未利用土地の筆数、面積は、市有財産評価審議会のあり方、5カ所で78台の市営駐車場の申し込み状況は?

総務部長

何も使っていない未利用地は約55筆、1万7千826㎡存在することが今回明らかになった。利用方法の見つからない財産については、売却可能資産として位置づけ、普通財産売却要綱などに基いて売却を進めていきたい。

ただ進まない原因として、土地価格が下落の方向にあり、例えば農地1筆をとっても、約10分の1の価格というのが

実態。売却を視野に進めたいが価格の差が非常に大きなネックになっている。

財産評価審議会への外部委員の導入は考えていない。

市営駐車場の利用申し込みは、9月1日現在で合計68台。

市長

大変厳しい今の時代、土地の評価額も大変落ちてきている。行政として処分をする考えの中で、臨機応変、その場その場の土地の状況を見て判断していきたい。

愛西市 基金残高・市債残高一覧表



	17年度末	18年度末	19年度末	20年度末	21年度末	22年度末	23年度末
基金残高	9,457	10,204	11,320	12,817	13,337	13,932	15,493
市債残高	21,275	23,580	25,307	26,549	27,568	28,994	30,482

※一般会計・特別会計・企業会計の合計額 (ただし、土地開発基金の土地は除く)

まちづくり

市民会議の 提案導入は

質問

産業・都市基盤部会が提案した巡回バス隣接地域乗り入れ事業の評価と感

想は。

福祉、保健・医療、安全部会が提案した愛西かるた事業と公園活用の提案は、街おこし事業としてすばらしいと感じた。提案評価と導入は。

生活環境・教育、文化、スポーツ、地域コミュニケーション部会の提案評価と導入は?

総務部長

津島市民病院、海南病院などへの乗り入れは、津島市、弥富市とも協議を進めている状況。両市の了解が得られれば、有料化の問題もあわせて運行検討委員会と今年度立ち上げる地域公共交通会議の中で議論して方向性を出してもらおう。

企画部長

愛西かるた事業は市民目線による事業提案で大変有意義。

市民が主体となって事業を実施していくことで進めていきたい。

福祉部長

高齢者技能バンクは生きがいづくり、社会参加の機会を得ることで有意義な提案。



一般質問 3月議会

総合斎苑の利便性
向上を目指せ

質問

昨年9月の総合斎苑利用開始以来、多くの市民から運用改善の意見や要望、苦情が寄せられた。セレモニーホールと待合室、初七日法要の利用状況について7ヵ月、実情はどうか。低い利用率の原因と対策は。市民の声、葬儀会社の声、仏教会の声をどのように受けとめているのか。

初七日（待合室）の利用時間を午後5時までに終了しなければならない特別な理由は何か。

市民生活部長

昨年9月から今年の2月までの式場の利用数は49件。待合室で初七日として利用件数は36件。告別式の間が昼前後の2パターンに固定されている。初七日の1時間以内と時間制限があると。利用者、葬祭業者、お寺関係者からの声も聞いている。今回、時間枠や選択肢の幅を広げ、システムを改修した。

施設の利用時間は、愛西市総合斎苑の管理及び運営に関する規則の中で午後5時までと定めておるからです。

質問

さらに市民の声を十分聞いて、何時にやっても初七日が愛西市の総合斎苑で対応できるようにぜひ見直しを。

午後5時に打ち切るという規則自身がいかげな。いかに有効に利用してい

くかは大切な課題。市民に喜ばれる斎苑にしていきたい。



東日本大震災後の
防災対策進捗は

質問

防災対策の進捗と中期計画は。市の防災マップには53カ所の避難場所が設定されているが大地震や水害には大丈夫か。市民に避難所床面の海拔を調査・開示すべきと思うが。新たな民間避難ビル追加指定の進捗は？

総務部長

大きな防災対策は24年度をスタートとして3年間で同報無線整備を図っていききたい。市内には低い地区もあるので、ハザードマップに示してあるように一部浸水する箇所もある。小中学校施設、防災コミュニティセンターについても建物補強工事については対応ができています。ゼロメートル標示の関係では、53カ

所の避難所も含めて24年度は100カ所の実施をしていきたい。民間避難所ビルの指定は現在2つの施設。ひまわり会館と名古屋光商事。今後の協定予定は6社、佐川急便、フジテック、シーキューブ、垣見鉄工、金井、青山不動産。

質問

大震災に本気の備えと訓練を！

総務部長

昨日、消防署も含む全職員に非常参集訓練を実施した。問題点も今回新たに出てきたが現在整理をしている。より実践的な訓練を今後続けたい。

その他の質問

安全な街づくりの推進を

住宅侵入盗や自動車盗が急増しており愛知県では5年連続全国最多。地区別防犯パトロール隊の育成強化と支援を。

あいさいスポーツクラブの誕生について

平成20年9月議会にて設立要望をした愛西スポーツクラブが、本年3月25日に設立総会を実施。

16のクラブ数で定員総数510人。市民の健康推進の為に子供から大人まで是非共加入を。

庁舎建設の市民意見結果

「愛西市統合庁舎建設・改修基本設計（案）概要版」に対する市民意見募集は本年2月10日から3月9日迄に行い、提出件数は20人で58件。

3月30日、市のホームページで市民の方へ公表。



ボランティアの推進

きれいな街を目指し道路清掃ボランティアに参加。すばらしいメンバーに恵



まれ良い汗を流している。

愛西イーグル杯GG大会

昨年の12月7日、第一回愛西イーグル杯GG大会を佐屋スポーツセンターにて実施。

60人の参加者で楽しいプレイができた。優勝者の鈴木さんはなんとホールインワンを3回でスコアが25。



イーグル杯ミニバス大会

昨年の7月31日、第3回イーグル杯ミニバスケットボール大会を親水公園体育館にて実施。14チームのトーナメント。

優勝 基目寺ミニバスクラブ
準優勝 佐織ミニバスクラブ
3位 立田ミニバスクラブ

市とみなさんに尽くす

わしのとしあきに

何でもお命じ下さい。

【事務所】

TEL(37)0856
FAX(37)0983

【住所】

愛西市塩田町江東七四